

家族への愛を詩に込めて



11月17日(日)に町民会館にて、養老町制施行70周年記念 第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭「清流の国ぎふ」文化祭2024「家族の絆 愛の詩」詩の祭典が開催され、優秀作品の表彰と朗読が行われました。

一般の部では、ある夏の日に杉の木の下から一周忌を迎えた母の気配や温もりを感じ、寄り添われ、抱きとめられたように感じた瞬間を綴った亀岡孝則さん(写真左)の「千年杉」が文部科学大臣賞に選ばれ、小中学生の部では、兄弟喧嘩をライオンの縄張り争いに例え、衝突しても弟のことを愛おしく思い、あたたかな兄弟の絆を感じさせる川添蒼斗さん(写真右)の「ライオン兄弟」(広報養老12月号に掲載)が岐阜県知事賞に選ばれました。

生きがいづくり 仲間と勝ち取った入賞



11月14日(木)に大垣市赤坂スポーツ公園多目的運動場で第26回西濃地区老人クラブ軽スポーツ大会が開催され、各種目(パタンク、グラウンドゴルフ、クロッケーゴルフ)に町を代表して4チームが出場しました。どの競技においても出場チームは強豪ばかりでしたが、日頃の練習の成果を発揮し、チームで声をかけ合い励まし合うことで、パタンクでは広幡チームが2位に、グラウンドゴルフでは押越チームが3位に入賞しました。

各地区老人クラブでは、新規会員を随時募集しています。興味のある人は、町老人クラブ事務局(健康福祉課 ☎ 32-1105)にお問い合わせいただき、一緒に楽しく取り組みましょう。

安全なクレヨンを園児たちに



11月27日(水)に岐建株式会社と株式会社佐竹組より「にしみのおやさしいクレヨン」を20箱寄附いただきました。このクレヨンは西濃地方で集めたお米や野菜から作られているため、こども園や保育園で使用する際、万が一、口に入れてしまっても安全です。また、西濃地域にある就労支援事業所で作られているため、福祉的就労支援とSDGsとが組み合わされた取り組みとなっています。

両社を代表して岐建株式会社の目黒達矢さんは「町内での工事において、地域住民の皆さまからご理解とご協力をいただき、順調に進めることができています。その恩返しとして、地域の子どものためにできることを考えて、この“安全なクレヨン”を寄附しました」と話しました。

寄附いただいたクレヨンは町内のこども園や保育園において使用します。

町職員の人事異動

12月1日付 ○ は旧任

町長部局

■部長級

住民福祉部付・社会福祉協議会派遣(産業建設部長兼新食肉基幹市場整備対策監)大倉修▽産業建設部長兼新食肉基幹市場整備対策監(産業建設部参事兼産業観光課長兼新食肉基幹市場建設推進室長兼農地整備推進室長) 竹中修

■課長級

産業観光課長兼農地整備推進室長(産業観光課課長補佐兼農地整備推進室室長補佐兼農地整備推進係長) 佐竹達也

■課長補佐級

健康福祉課ねりんピック推進室長心得兼社会福祉第1係長兼介護保険第1係長(健康福祉課課長補佐兼社会福祉第1係長兼介護保険第1係長) 田中義康▽産業観光課新食肉基幹市場建設推進室長心得兼推進係長(産業観光課課長補佐兼新食肉基幹市場建設推進室室長補佐兼推進係長) 杉野雄士

■係長級

企画財政課財政係長(企画財政課財政係長心得) 中山準也

■主事級

福祉センター兼児童館(広幡こども園)安福みら

消防本部

■係長級

上石津分署救急第2係長(南部分署警防第2係長) 大橋秀昌

■主任級

南部分署主任(上石津分署主任) 矢野皓大